

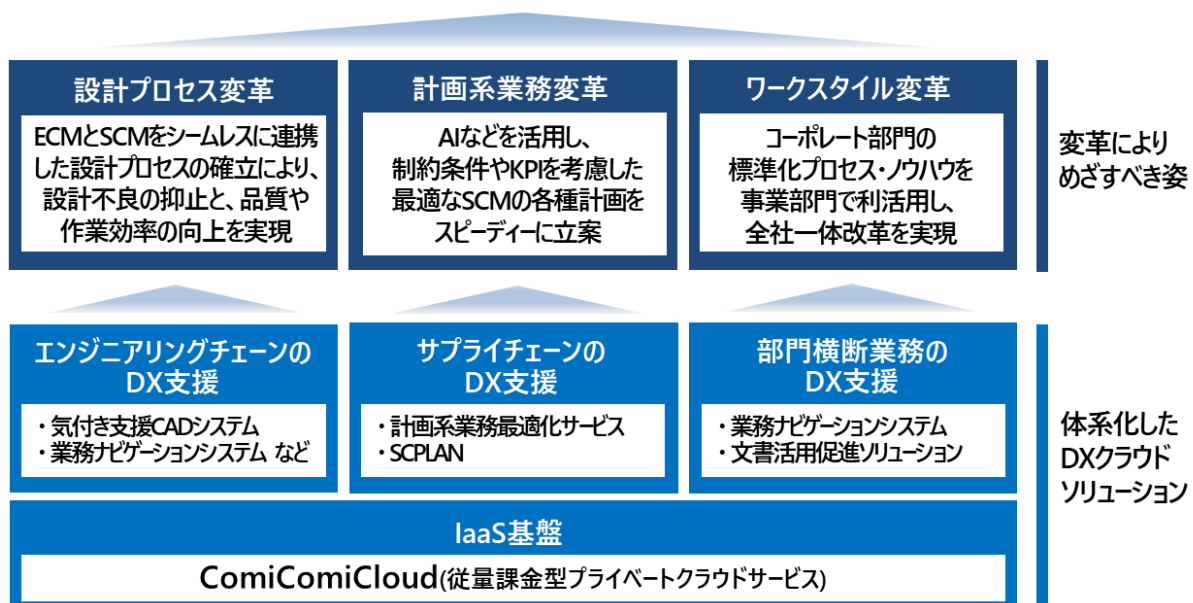
# News Release

2023年9月4日  
株式会社日立製作所

## 幅広い業務のデジタル変革をワンストップで支援するサービス群・基盤を 「製造業向け DX クラウドソリューション」として体系化

日立の幅広い分野・領域のソリューション提供実績や、蓄積してきた知見・ノウハウ、デジタル技術を活用

製造業のお客さまのDX推進を強力に支援  
- ビジネス変革による高度化と効率化に貢献 -



ECM : Engineering Chain Management  
SCM : Supply Chain Management

「製造業向け DX クラウドソリューション」体系図

株式会社日立製作所(以下、日立)は、製造業のお客さまの幅広い業務のデジタル変革をワンストップで支援する各種サービス群およびクラウド基盤を「製造業向け DX クラウドソリューション」(以下、本ソリューション)として新たに体系化し、9月より提供を開始しました。本ソリューションは、日立がお客さまの課題解決を通して蓄積してきた知見・ノウハウ、デジタル技術を生かした多種多様なサービスを、豊富な提供実績を有し運用の効率性と堅ろうなセキュリティを両立する「ComiComiCloud<sup>\*1</sup>」(従量課金型プライベートクラウドサービス、コミコミクラウド)を基盤に提供するものです。これにより、設計プロセス、計画系業務、ワークスタイルの変革を実現し、業務の高度化・効率化に貢献していきます。

\*1 「ComiComiCloud」は株式会社日立製作所の日本における登録商標です。

## ■背景

昨今、労働人口の減少、環境に配慮した事業推進、不確実性の高まりなど、製造業を取り巻く課題は複雑かつ複合的になるとともに、急速に変化しています。これに対応するため、AI やデータ処理技術などのデジタル技術による DX 推進が急務です。また、製造業の DX においては、従来、個別最適となっているエンジニアリングチェーン<sup>\*2</sup>、サプライチェーンのそれぞれの業務を、データで見える化・分析し、エンジニアリングチェーンにフィードバックして全体最適すること、サプライチェーンの複雑な制約や KPI を考慮した最適な計画立案およびスピーディーに生産計画を立案すること、コーポレート部門の業務標準化と問題解決力を強化し、事業部門でもそのノウハウを利活用することが競争力強化につながります。

このたび、日立は自ら製造業として培ってきた OT や IT、および製造業の幅広い分野・領域のお客さまの課題解決を通して獲得した多くの知見・ノウハウ(ドメインナレッジ)を生かし、お客さまの DX ニーズにより的確に応える本ソリューションを新たに体系化しました。

\*2 製造プロセスにおける設計部門を中心とした業務で、企画、設計・試作、生産準備、保守までの一連の業務のプロセスのこと。

## ■「製造業向け DX クラウドソリューション」のサービスラインアップ

### 1. エンジニアリングチェーンのための DX 推進支援サービス

モノづくりの ECM と SCM をシームレスに連携させ、製造現場の品質情報とメンテナンス情報を設計にフィードバックするプロセスを確立することにより、設計段階での不良を抑止し、製品の品質や作業効率を向上させます。

[https://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/dsc/dsc\\_ds.html](https://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/dsc/dsc_ds.html)

- ・ 3D CAD 上であらかじめ登録しておいた設計ルールに違反していないかをチェックし、チェックの工数削減や漏れ防止、手戻り・設計不良・設計変更の低減を実現。(気付き支援 CAD システム)
- ・ 業務手順を階層化し、ノウハウや過去データを関連付けて表示することで、“資料を探す”、“誰かに聞く・確認する”といった時間を削減するとともに、作業品質を平準化。(業務ナビゲーションシステム)
- ・ 設計・製造からの不良や問題点などの品質情報をデータベースに格納し、それを AI が解析・学習することでキーワードや情報の関連性が不明な場合でも、解決のための関連情報を検知・把握。(文書活用促進ソリューション)
- ・ 標準化された業務手順を遂行することで、製造からフィードバックされた品質情報を参考にしながら、標準化されたプロセスに従い効率的に設計を進めることが可能。(業務ナビゲーションシステム + 文書活用促進ソリューション)
- ・ セキュリティの確保されたクラウド環境上の仮想デスクトップを活用して、場所や端末に依存せず安全な作業環境を実現。(3次元仮想デスクトップ)
- ・ 3D CAD データから 3D の組み立て手順書を自動生成。熟練者と若手の技能差の縮小と、手

順書作成における生産性を向上。(組立ナビゲーションシステム)

- ・ プロジェクト関係者間で開発工程の計画・進捗、作業負荷状況を可視化し、円滑なプロジェクト推進およびプロジェクトの先手管理を実現。(開発日程管理サービス)

## 2. サプライチェーンのための DX 推進支援サービス

SCM の起点となる計画策定に AI や高速 MRP<sup>\*3</sup> エンジンを活用することで、複雑な制約条件や KPI を考慮した最適な計画の立案やスピーディーな生産計画の立案に貢献し、計画系業務変革を実現します。

- ・ 計画業務における制約条件や KPI を AI にセットアップしたうえで、供給計画や商品情報など、計画に必要なデータを入力することで、膨大な組み合わせの中から素早く最適な計画を自動で立案。(計画系業務最適化サービス)
- ・ 日立が独自開発した高速 MRP エンジンを活用し、スピーディーな生産計画の立案と変更を支援。計算が速いだけでなく、飛び込みの受注や急な欠品などのさまざまな計画変更要因に対して影響範囲を高速に分析し、再計算範囲を限定できるため、問題点の解消に向けた反復計算にも容易に対応。(「SCPLAN<sup>\*4</sup>」(サプライチェーンプランニングサービス))

[https://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/scm\\_scplan/index.html](https://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/scm_scplan/index.html)

\*3 MRP(Material Requirements Planning)：資材所要量計画

\*4 「SCPLAN」は株式会社日立製作所の日本における登録商標です。

## 3. 部門横断業務のための DX 推進支援サービス

コーポレート部門および事業部門の業務標準化と AI による問題解決力の強化により、全社一体となるワークスタイル変革を実現します。

- ・ さまざまな業務を実施する中で、決められた手順でノウハウを共有しながら業務負荷を軽減。作業者に依存せず、作業品質の平準化を実現。(業務ナビゲーションシステム)
- ・ 業務の途中で疑問が生じた場合、実行している業務名やキーワードを検索することで、関連性の高い過去の業務データや事例を AI が“観点マップ”として可視化し、慣れた作業でなくとも思いつかないような情報を提示。蓄積された情報を有効に利活用し、業務の効率化と品質の向上に貢献。(文書活用促進ソリューション)

## 4. 「ComiComiCloud」(従量課金型プライベートクラウドサービス)

お客様の指定場所に日立資産のハードウェアを設置し、本ソリューションのサービス提供基盤となるお客様占有のプライベートクラウド環境を構築するとともに、運用・保守を日立が実施します。安定した性能と堅ろうなセキュリティを確保できるため、お客様のノウハウを伴う重要なデータを扱う環境として適しています。また、基本料金が不要な従量課金制のシンプルな料金体系で、IT コストの最適化や運用コスト

の低減を実現します。

<https://www.hitachi.co.jp/products/it/industry/solution/pcloud/index.html>



本ソリューションの概念図

■サービス紹介動画

項目	紹介動画 URL
EngineeringChain のための DX 推進支援サービス	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=KN_AJOFrt90">https://www.youtube.com/watch?v=KN_AJOFrt90</a>
SupplyChain のための DX 推進支援サービス	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=Pfq0Vq4lihA">https://www.youtube.com/watch?v=Pfq0Vq4lihA</a>
業務標準化のための DX 推進支援サービス	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=0oKlgO-eGOQ">https://www.youtube.com/watch?v=0oKlgO-eGOQ</a>
ComiComiCloud	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=OCwsMHwQG04">https://www.youtube.com/watch?v=OCwsMHwQG04</a>

■Hitachi Social Innovation Forum 2023 JAPAN での紹介について

本ソリューションは、日立が 2023 年 9 月 20 日(水)～21 日(木)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2023 JAPAN」において、ご覧いただけます。展示テーマ「産業・都市の DX」内、「不確実性の時代を変革の好機に ～日立が描く産業の未来～」展示ブースにおいて両日 10：30 から開催するミニセッションで紹介する予定です。

イベント詳細は、オフィシャルサイト(<https://www.service.event.hitachi/regist/>)をご覧ください。

## Hitachi Social Innovation Forum 2023 JAPAN

#### ■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

#### ■お問い合わせ先

株式会社日立製作所 インダストリアルデジタルビジネスユニット

お問い合わせフォーム

[https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/industry/general/form\\_input.jsp](https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/industry/general/form_input.jsp)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---